

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	YMCA きぼう		公表日		2025年3月21日		利用児童数	29	回収数	18
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応				
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	4		1	きぼうの部屋もう少し広いと思う	室内の配置換えをし、メンバーの活動スペースを広げました		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	3		1		加配職員を配置し、引き続き支援を行います		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	3		3		必要に応じて行っていきます		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	15	2		1		必要に応じて行っていきます		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	1				今後も研修等を行い、職員の知識を高めていきます		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18							
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18							
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	1		2		面談の際により丁寧に説明していきます		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	1				面談の際に丁寧に説明していきます		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	1				プログラムが固定しないように周知し工夫していきます		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	3		6		機会はあるが、SNSやお便りでの発信を行っています		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18							
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18							
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	1		2		現在親子イベントの中で研修を取り入れておりますが、今後も継続して行います		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	18							
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	4				必要に応じて行っていきたくておりますので、保護者へ周知してまいります		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17	1						
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	2		3		親子イベントを引き続き行っていきます 今後はニーズに沿って機会を設けることを検討します		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	1	1		契約の際に保護者へ周知しておりましたが、再度周知が必要だと判断した場合は説明を行っています
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	1	2		取り扱いについては、再度保護者へ周知を行っています
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	3	1		マニュアルを周知をしています
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14		4		避難訓練年2回以上行っています ブログやSNSで更新していきます
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16		2	事故など今までなかったため	今後も事故等があった場合はすみやかに対応していきます
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	1			楽しみに通所していただけますよう今後も努めていきます
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	1			満足いただけますよう今後も努めていきます

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		YMCAきぼう		公表日		2025年 3月 21日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	室内の配置換えを行い、広く使えるようにしております	部屋を区切って活動できるように、移動式パーティション購入し使用していく予定です	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1		子どもへの支援が充分でないと感じる場面があるので、曜日に応じて学校の迎えを調整していく等の対応を検討中です	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2		バリアフリーではないが、児童や保護者のニーズに沿って環境を整えていきます	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			時期を決めて、引き続き清掃を行っていきます	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1		今後は目標を設定して、スタッフと確認を行っていく予定です	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6				
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			3月中に公表予定です	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			今後も長期休暇の活動の際に新たな外出活動の場所を模索していきます
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2		就業時間が違うので終了後は行えていないため、次の日に行っていくことに加え、記録の残し方を工夫していきます
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	相談支援事業所とは連携しております	他の機関についても必要に応じて行っていきます
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	必要に応じて行っております	今後も必要に応じて行っていきたくと思っています
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2		必要に応じて行う予定です
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3		来年度に向けて参加できるように努めています
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6			
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	YMCA法人としてイベントを行っております	保護者への周知を継続して行っています
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	3	保護者の申し出、保護者への聞き取りで対応しています	医師の指示書については、就学時等に学校へ提出する物の写し等を提出していただけるようにしていきます
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6				

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	YMCAきぼう			
○保護者評価実施期間	2025年 1月 21日		～	2025年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数)	18
○従業者評価実施期間	2025年2月15日		～	2025年3月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 19日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	野外活動・自然体験・体験活動を多く取り入れ、野外炊飯や川遊び、ハイキング、公共交通機関での移動や公共施設の利用もしている	野外活動、自然体験、体験活動が子どもたちの成長にとっても重要だと考えているため多く取り入れている	次年度は社会福祉法人仙台YMCA福祉会が野外保育場を整備するため、そこでの活動も取り入れ、自然体験、野外活動の幅を広げていく
2	YMCAみらい(小学部)が隣接しており、メンバーの情報共有を行い、スムーズに移行できるようにしている ポップクラブ(民間の学童保育施設)が隣接しており、行事等と一緒にいる等交流を図っている	日々の活動の中で、西公園で一緒に遊ぶ他、長期休暇中の行事(お祭り)と一緒に活動をしている	このような活動をしていることを周知できていないので、周知していく また、メンバーの中には緊張するメンバーもいるため、本人の気持ちに寄り添いながら交流を図っていく
3	メンバーの意思決定を大切に、活動内容の検討の際にメンバーの意見を取り入れている	年度末や長期休暇の前に、メンバーからプログラム案の提案やプレゼンをもらい、活動を立案している	土曜活動のメンバー以外は全員の意見を聞き取れていなかったため、提案する機会の持ち方を改善していく (取組案: 直接の聞き取りの他、長期休暇中の2か月前に紙面でも聞き取りができるようにしていく)

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設が狭い、トイレが1つしかない、バリアフリーではないこと	借用物件の為限られたスペースでの過ごしとなる	室内ではパーティションの利用や、椅子・机を使用しスペースを区切りながら活用して活動を行っている
2	小学部のYMCAみらいや、民間学童のポップクラブなどの交流をしているが、保護者へ取り組みが伝わっていないことがある	遊難訓練や放課後児童クラブとの交流を行っていたり、YMCA全体の行事も伝えているが、保護者の方にわかりやすく伝わっていない	契約の際だけでなく、面談の際にお伝えする ニュースレター・SNSで情報を発信する